

## 第1章

# 中野区地域包括ケアシステム 推進プラン策定の趣旨

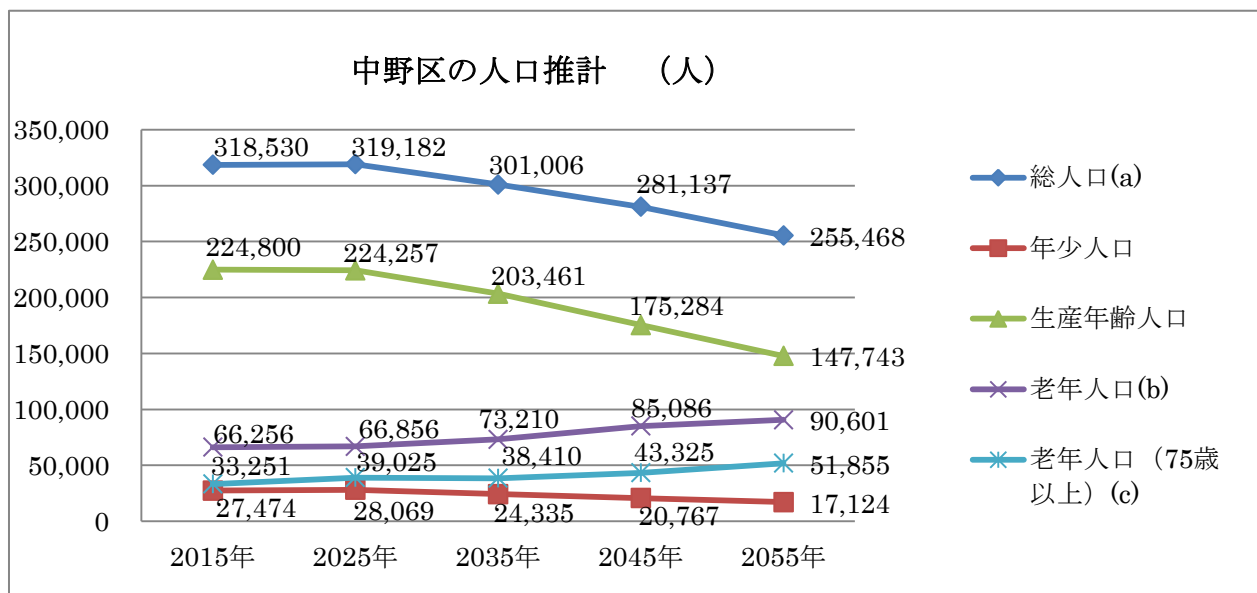
# 1 プラン策定の背景

- 少子高齢化の急速な進行に伴い、地域における一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の孤立や認知症高齢者の増加、介護家族の負担増など深刻な状況が起っています。また一方で、医療・介護分野における人材不足、地域では地域活動等の担い手不足が生じているなど多くの課題に、社会全体でどのように取り組んでいくのかが大きな課題となっています。
- このような課題に対して、誰もが歳をとっても、仮に身体が不自由になったとしても、尊厳を保って、可能な限り住み慣れた地域で最期まで暮らし続けることができるよう、住まい、健康づくり、予防、見守り、介護、生活支援、医療が一体的に提供される仕組みとして、中野区としての「地域包括ケアシステム」を構築することが必要となっています。
- さらに区がめざす地域包括ケアシステムは、高齢者だけでなく、障害者や子育て世帯など対象を全世代、全区民に広げて、段階的に取り組んでいきます。

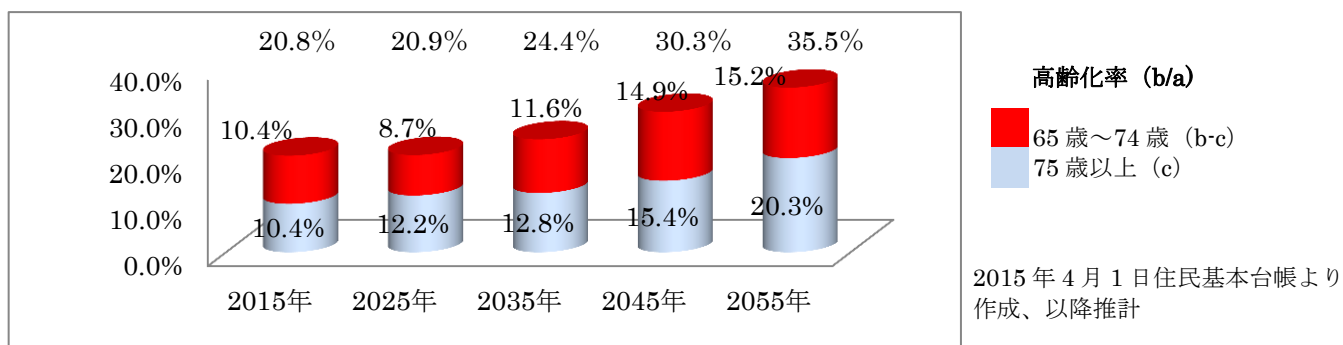
# 2 高齢化の現状と将来推計

- 中野区の老年人口は、2025 年ごろまではほぼ横ばいですが、それ以降、急激に増加し、2055 年にはピークを迎える予測（約 9 万人）です。
- 高齢化率は 2055 年には 35%を超え、20%は 75 歳以上の後期高齢者が占めます。  
※高齢化率 7%で高齢化社会、14%で高齢社会、21%で超高齢社会といわれています。
- 中野区のひとり暮らし高齢者は、平成 22 年（2010 年）は 18,163 世帯ですが、平成 32 年（2020 年）には 30,045 世帯と大幅に増加し、その後更に漸増します。
- 老年人口に占めるひとり暮らしの割合は、平成 37 年（2025 年）には約 45%、65 歳から 74 歳までは 15%、約 1 万人ですが、75 歳以上は 30%、約 2 万人まで増加するものと考えられています。

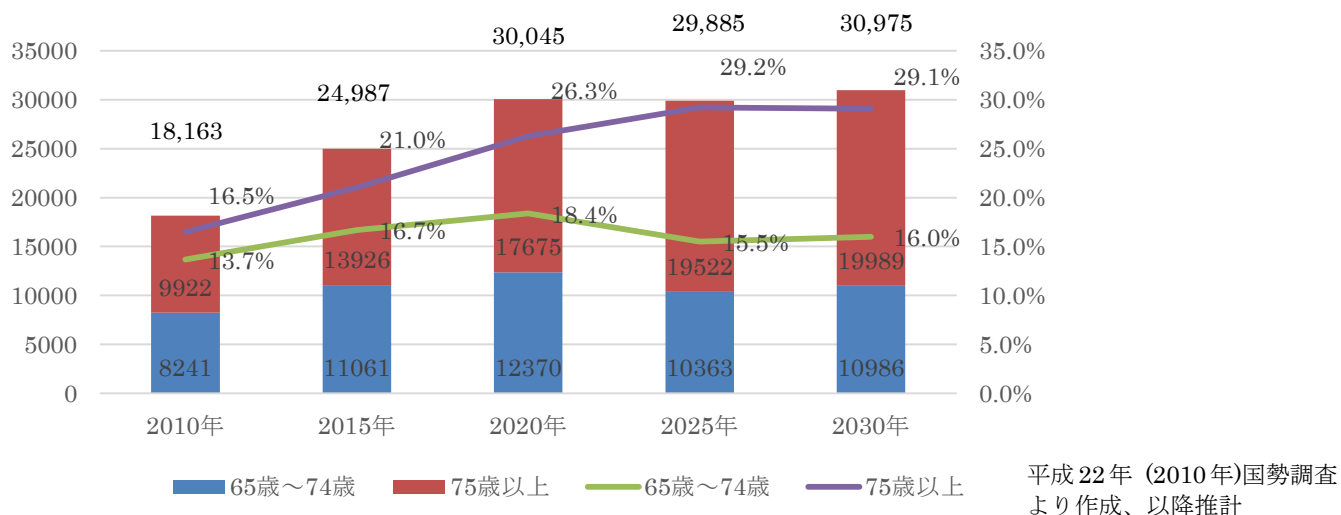
中野区の人口推計



### 中野区の前期高齢者と後期高齢者の割合の推移

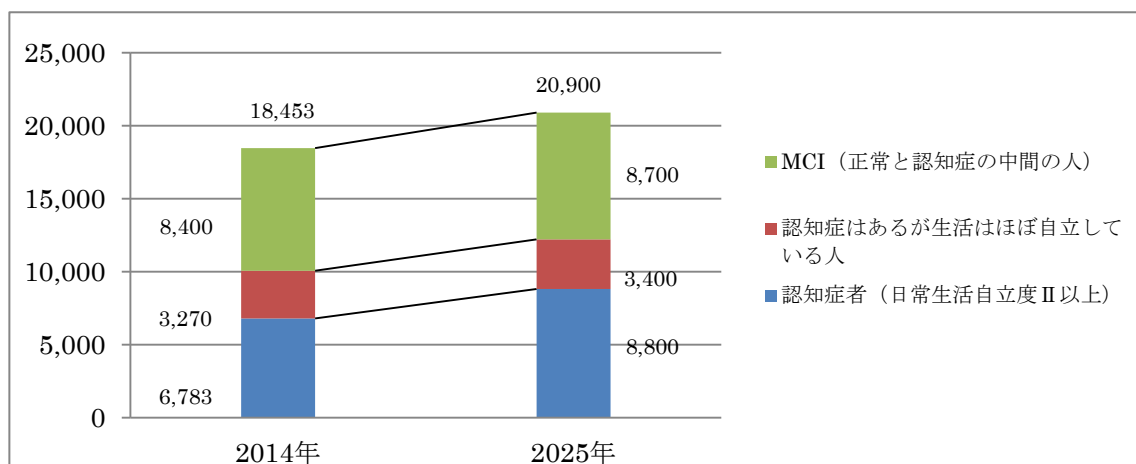


### 中野区の一暮らし高齢者の推移 (人)



○ 平成26年(2014年)の認知症高齢者は約10,000人、平成37年(2025年)は約12,200人になると推計されます。

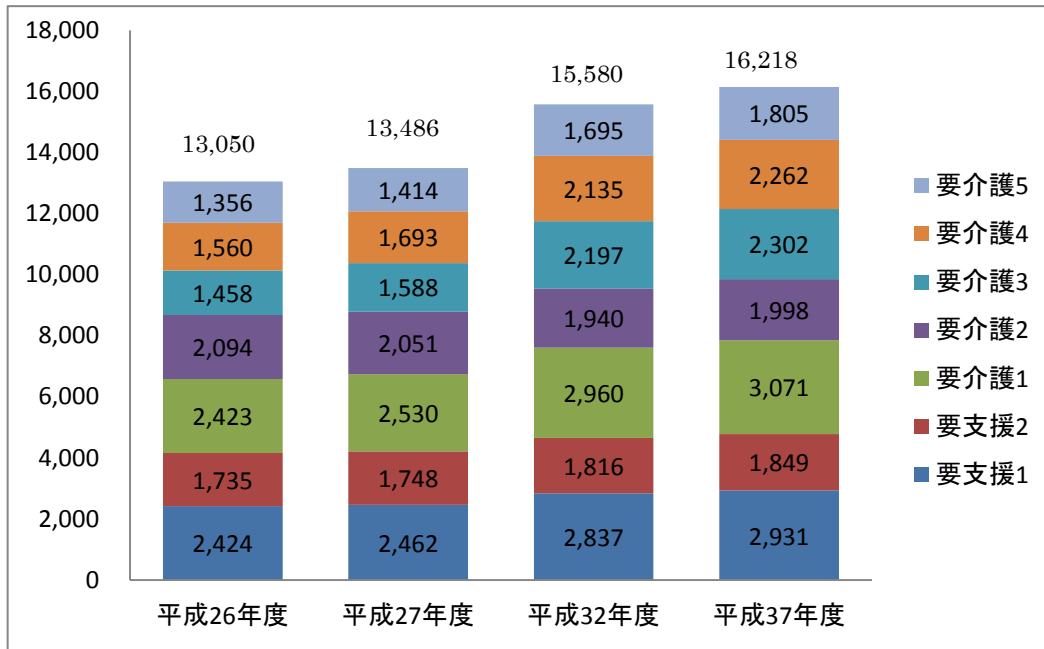
### 認知症高齢者の現状と10年後の将来推計 (人)



東京都、国の推計値を区の高齢者人口で換算  
要介護者数・認知症高齢者数等の分布調査(東京都)平成25年11月

○要支援・要介護認定者数は高齢者人口の増加傾向を受けて増加するものと予測されています。

### 介護保険要支援・要介護認定者数の推移と予測（人）



介護保険事業状況報告（各年 10 月 1 日現在 推計値）  
健康福祉総合推進計画 2015

## 3 プランの位置づけ

- 中野区地域包括ケアシステム推進プラン（以下「プラン」という。）は、団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025年）を目途として、中野区の目指す姿に向けて、区、町会・自治会、民生児童委員、医療関係者、介護事業者及び地域の関係団体等が自ら実施し、協働していくための区と区民のアクションプランとして策定します。

## 4 プランの期間

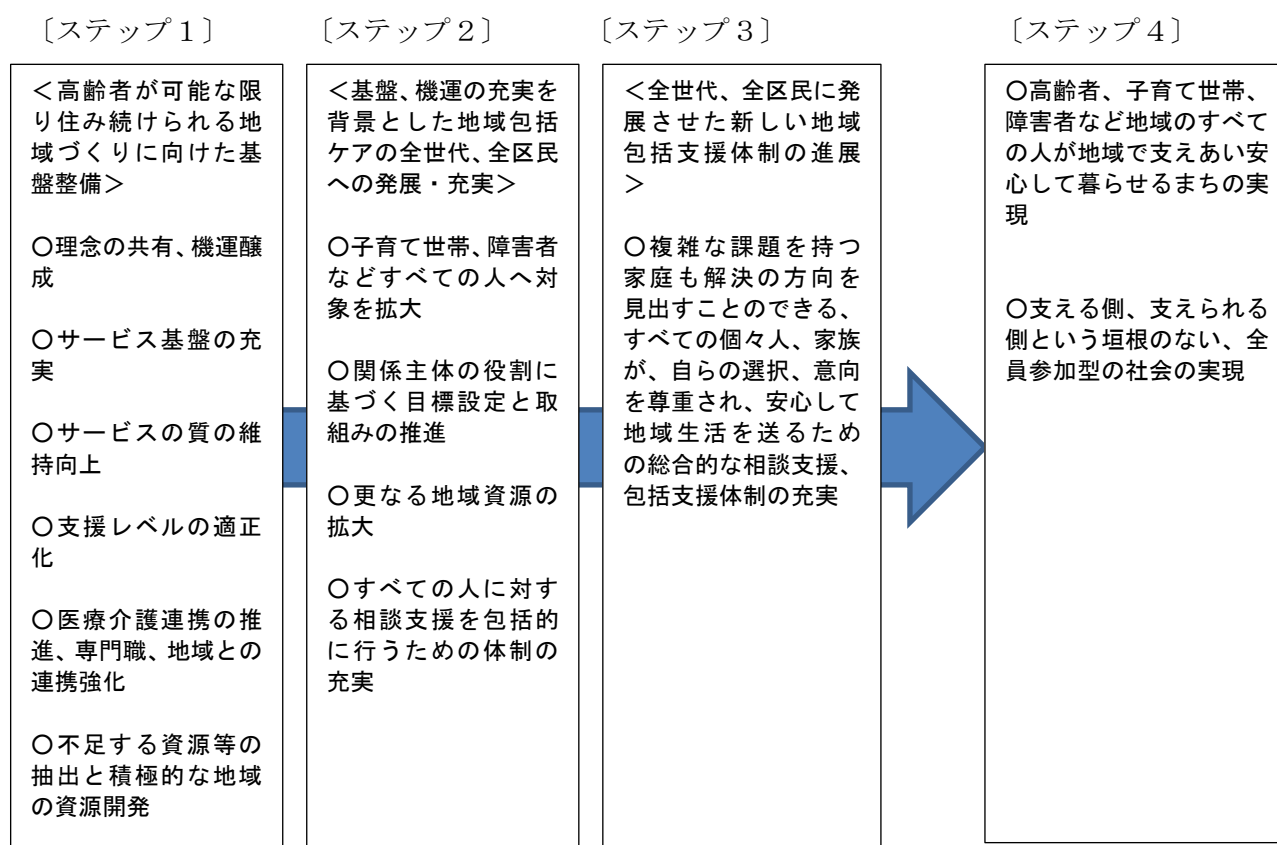
- 計画期間は、平成28年度（2016年度）から平成37年度（2025年度）までの10年間とし、毎年度、中野区地域包括ケア推進会議で進捗状況を確認していきます。
- 当初3年（平成28～平成30年度）の達成目標と10年（～平成37年度）の達成目標を立てます。

## 5 プランの構成

- プランは、平成28年度～30年度をステップ1とし、高齢者が可能な限り住み続けられる

地域づくりに向けた整備を行います。喫緊の課題である高齢者の地域包括ケアシステムの構築を主とした内容としますが、ケアを必要とするすべての人を支援する視点についても盛り込んだものとします。

- ステップ2は、平成31年度～32年度を目途として、ステップ1における高齢者を主とした地域包括ケアの基盤、機運を背景として、地域包括ケアの対象者を子育て世帯、障害者などを含む地域の全世代、全区民へ拡大し、プランについても発展・充実を図っていきます。
- さらに、平成33年度～34年度のステップ3では、全世代、全区民に拡大させた新しい地域包括支援体制を進展させます。
- 平成35年度～37年度のステップ4では、高齢者、子育て世帯、障害者など地域のすべての人が、地域で支えあい安心して暮らせる地域包括ケア体制の整ったまちの実現を図ります。



## 6 今後の進め方

- ステップ2に向けては、平成29年度の健康福祉審議会における健康福祉総合推進計画の検討において、子どもと障害者の地域包括ケアを議論し、これを受けて平成30年度に、中野区地域包括ケア推進会議にて関係団体とともにプランの見直しを行い、平成31年度から拡大できるよう取り組みます。

○ プランは、区の他の計画との整合性を図って計画・実施していきます。

